

人権だより (令和5年度11月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次3組

寒い日が急にやって来て、冬がすぐそこまできていることを感じさせますね。今月の人権だよりでは、先日行われた清水展人さんの講演会の様子や、川高祭でのユニセフ募金の成果をお知らせしたいと思います。

【清水展人さん講演会 男らしく、女らしくよりも「自分らしく生きる」 ～ひとりひとりの多様な性を大切に～】

清水 展人 (ひろと) さん プロフィール



1985年生まれ。兵庫県で長女として誕生。幼いころから性別に違和感があるものの、高校時代まで誰にも相談することができず、1人悩んで過ごす。18歳の時に性同一性障害と診断。大学生の時に、意を決して海外で手術を行う。帰国後、裁判所にて氏名・性別の戸籍変更を終え、戸籍上男性として生きはじめが社会との葛藤は続く。

現在は周囲から無理だと言われた結婚を叶え、不妊治療を経て2児の父親となった。自分の人生経験を糧に、専門知識や実績を活かして、全国各地の学校・企業・行政向けの研修会の講師・コンサルタント・著者として活動。

～1年次生の感想より～

○今回の清水さんの講演を聞いて、「自分らしく生きる」ことはとても大切なことなのだと思います。自分を大切に、相手も大切にできる人になりたいと思います。

○私はバイセクシュアルの人と話をしたことがあります。「理解して、寄り添ってくれる人がいたら心が本当に楽になる。」と言っていました。辛さを一人で抱え込んでしまう人がいないような社会や環境を少しずつでも作っていきたいです。

○今回のお話で、AB型の人や左利きの人と同じくらいの割合でLGBTQの人がいると聞いて驚きました。そしてLGBTQの人たちは日常生活で大変な思いをしているのだと知りました。もっとたくさんの方がLGBTQのことについて学べば、その人たちも生きやすくなると思います。人それぞれの生き方・考え方を認め合っていきたいと思いました。

～2年次生の感想より～

○LGBTQのことは、ネットで見たり、授業で習ったりしていたので自分では結構分かっているつもりになっていました。でも今回清水さんのお話を聞いて、自分は無知だったなと思いました。当事者の人の心の痛みや辛さを分かったつもりになっていただけ、体験談

を聞くと想像をはるかに上回るものでした。自分が清水さんの立場だったら…と思うと、今までとは違った感覚がありました。正しい知識を身につけ、次世代に伝えられる人になりたいと思いました。

○これまでにLGBTQについては学習してきましたが、当事者にお会いしたのは初めてでした。自分の過去の辛さを乗り越えて人に伝え、今の自分に自信を持てる人は魅力的だと思いました。私も小さい頃からスカートをはいたり髪を伸ばしたりすることが好きではありませんでした。友達には何も言われませんでした。親は「もう少し女の子らしくしたら。」と言ってきました。もし自分の周りに性自認のことで悩んでいる人がいたら、話を聞いてあげたいです。私も清水さんのように「自分らしさ」を大切にしていきます。

～3年次生の感想より～

○これまでにLGBTQについては学習してきましたが、清水さんの体験談を聞いて自分が想像していた以上に辛い思いをされていたことを知りました。性的な指向は目には見えないものだし、いつ誰の性自認が変わるか分かりません。自分の隣にいる人がそういう悩みを抱えているかもしれないと思って生活をしたいです。



○今回の公演では、とても新鮮な感覚で性をとらえることができました。性自認がグラデーションで表現されており、明確な区切りがなかったからです。これまでの私には「女性」「男性」「どちらでもない」の3つの考え方しかありませんでした。また、自分が清水さんの立場だったら…と思って講演を聞いていました。最も自分のことを理解してほしい家族に否定されたら、私なら本当に望む姿で生きることをあきらめると思います。それでも「自分らしさ」を大切に生きておられる清水さんはすごいと思いました。

【ユニセフ募金活動への御協力、ありがとうございました！】

11月3日に行われた川高祭で、人権委員会はユニセフへの募金活動を行いました。「すべての子どもに『希望』を」という思いで、来場者の方や生徒のみなさんに声かけをしました。短時間の活動ではありましたが、多くの方に御協力いただいたおかげで、12,744円の募金が集まりました。このお金で、以下のものを子どもたちに届けることができます。

- ワクチンを一定の温度に保った状態で安全に運ぶことができるワクチン用保冷箱4箱
- 免疫力を高め、病気にかかりにくくするビタミンA 1,500錠

世界では、ウクライナをはじめ、シリア、イエメンの紛争の終結が見通せず、スーダンでも新たに紛争が勃発しています。まだ何百万人の子どもたちが先の見えない避難生活を強いられています。コロナ禍による貧困も拡大、児童労働に従事する子どもも増加しています。

皆さんには、ユニセフ学校募金委員会委員長の赤松良子さんからの感謝状と日本ユニセフ協会大使でプロサッカー選手の長谷部誠選手からメッセージが届いていますので、人権に関する掲示板にはっておきます。ぜひ見てみてください。御協力、どうもありがとうございました。